



研修主題

『自分の考えをもち、表現できる児童の育成』—主体的な学び合いを取り入れた国語科指導を通して—

内容：今年度の研修について

【成果】

- 学年間での先行授業や教材研究を協働的に行い、児童らに主体的な学び合いの姿が見られた。
- ペアやトリオでの話し合い活動を多く取り入れたことにより、全体の中で発表できない児童も、進んで話すことができた。
- 教科のしぼりが無い分、体育などいろいろな教科でも主体的な交流活動を実施することができた。

【課題・希望】

- 自分の考えをもてない児童への支援と、時間の活用が難しい。
- 教科にしぼりをもたせないで、教科横断的な学習を充実させる。
→国語の代表授業を考え、赤小として国語の授業に取り組む。
- サブテーマを変更する。

30年度 研修主題

『自分の考えをもち、表現できる児童の育成』

—主体的な学び合いを取り入れた国語科指導を通して—

※「伊勢崎教育構想2018」のうち、「学カパワーアッププラン」に重点的に取り組む。

具体的な取り組み

家庭学習について

家庭への呼びかけ

- 学年ブロックごとに『家庭学習の進め方』を4月の懇談会で配布・説明、またカラー版「家庭学習の手引き」を作成し、2学期の『家庭学習強化週間』にあわせて全家庭に配布しています。ノート見本を載せ、より具体的でわかりやすい手引きにしました。

強化週間

- 「家庭学習強化週間」を赤堀中学校のテスト期間に合わせて、学期に1回設けています。
- 「赤ペン先生」「学びチャレンジ」を実施し家庭でも親子で学習に取り組める工夫や会話をする機会を設けます。

自主学習

- 3年生以上は、同じノートを使用して自主学習に取り組ませています。その日の学習の振り返りなどを取り入れている学年もあります。
- よい自主学習ノートは、学級通信や学習掲示板で紹介をし、取り組みを他の児童に広めています。

授業について

授業形態の工夫

- 教科や学年に応じて、コの字型を取り入れ、ペア学習など交流活動をしやすいようにしています。
- 高学年算数では、等質分け、習熟度別算数を取り入れ、コースに合わせて問題や手立てを工夫して、それぞれのコース児童の力を伸ばせるようにしています。補充学習も行っています。

交流活動

- ペア学習やグループ学習、話し合い活動、ホワイトボード活用を取り入れ、児童が自ら進んで交流する中で課題解決ができるような授業作りを心がけています。

プラス1

- 赤小授業スタイルに基づき、授業の最後に「プラス1」を行うようにしています。学習内容理解の見取り、発展問題・思考問題への挑戦を行っています。

ノート

- ノート見本を教室に掲示、また各自ノートに貼り、意識できるようにしています。
- 見本となるノートを定期的に学習掲示板に掲示します。その際に「ここがいいね」というポイントを教師が書き入れます。

検証

- 研修で目指している内容を、アンケートを使用することで、教師だけでなく、児童にも伝えます。教師と児童が同じ方向を向くことができるようにします。

教員指導力アップについて

主題外研修

- 色々な種類の主題外研修の時間を確保することができないので、自主研修の時間を設け、教員の指導力アップを目指します。それぞれの教員の得意分野（図工や体育、家庭科、保護者対応など）で短時間での「明日つかえる研修」を計画していきます。

赤小 学習の約束虎の巻

- 学習に関する約束やきまりを一冊のファイルに綴じ、全教員が共通理解、共通指導するようにしています。学年・学級での差がでたり、教員の入れ替わりによってやり方が変わったりすることのないようにしています。ファイルの内容は、実態に合わせて充実していく予定です。

授業研究会の持ち方

- グループ協議やワールドカフェ形式での話し合いを取り入れ、全教員が意欲的に参加できる研究会にできるようにします。

教員間の連携

- 学年の教員間での連携はもちろん、それ以外でも教員同士声をかけ合い、指導力向上はもちろん、気持ちの面でも連携を強められるようにします。